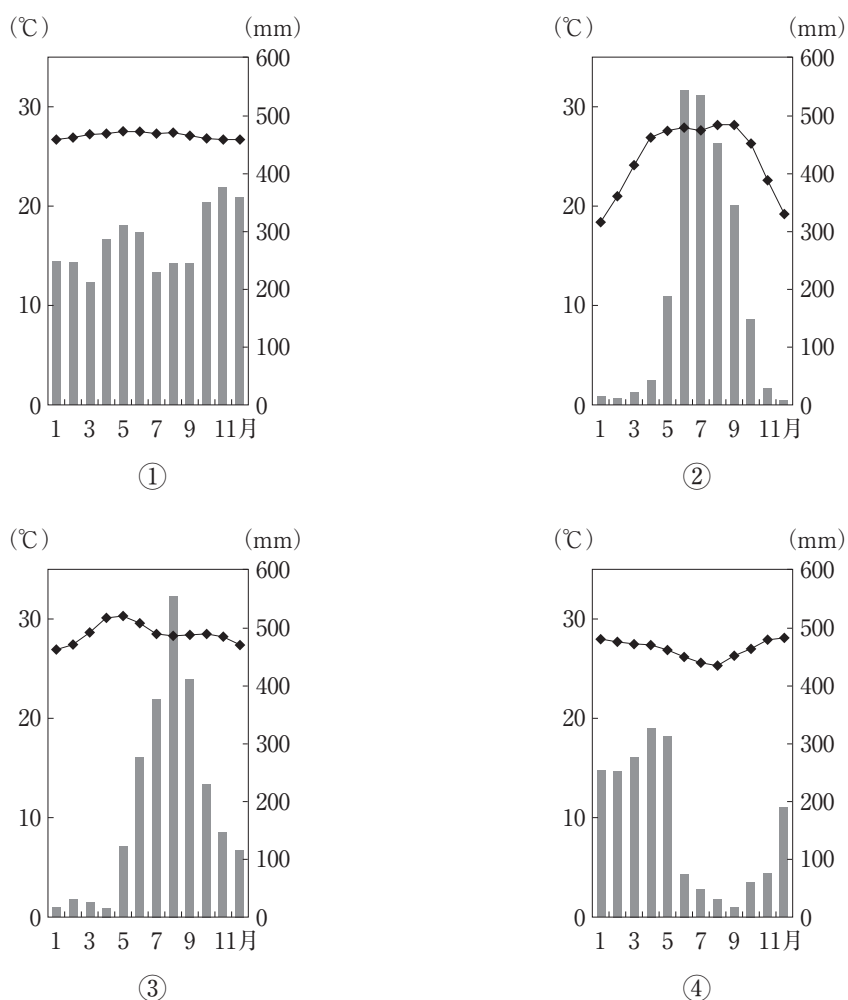


地理探究

- 1 東南アジアに関する下の各問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。



図 1



気象庁のホームページにより作成。

図 2

- 問 1 図 1 中の都市アにおける雨温図として最も適当なものを、図 2 の中から選びなさい。
- 問 2 図 1 中の都市イにおける雨温図として最も適当なものを、図 2 の中から選びなさい。
- 問 3 図 1 中の都市ウにおける雨温図として最も適当なものを、図 2 の中から選びなさい。
- 問 4 図 1 中の都市エにおける雨温図として最も適当なものを、図 2 の中から選びなさい。

問5 図1中の■印付近の景観として最も適当なものを、次の中から選びなさい。



①



②



③



④

①～④は著作権の都合上、類似の写真と差し替えています。
ユニフォトプレス提供

問6 図1中に示されている緯線について、北緯10度と南緯10度の組み合わせを次の中から選びなさい。

- ① AとC ② AとD ③ BとC ④ BとD

問7 図1中に示されているf～iのうち、火山が多く分布する地帯として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

- ① f ② g ③ h ④ i

問8 東南アジアにおける自然環境に関する記述として適当でないものを、次の中から選びなさい。

- ① インドシナ半島南部の河口部には巨大な三角州が形成され、潮間帯にはマングローブが広く分布するが、えびの養殖池などの開発によって乱伐が進んでいる。
- ② 東南アジアの広い範囲がプレート境界に位置することから地震の多発地帯であり、沿岸部では津波による災害が何度も起きている。
- ③ フィリピン東方では西向きの海流が流れ、世界で最も高水温の海域となっていることから、熱帯低気圧や台風が発生しやすい。
- ④ マレー半島は、メコン川やチャオプラヤ川の作る低平な平野であり、世界でも有数の稲作地帯となっている。

- 2 次の文章を読み、下の各問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

オーストラリアでは、自然環境に適応しながら、広大な土地で大規模な農業が行われてきた。広大な土地を利用して、などでは、牧羊が粗放的に行われている。南東部と南西部の年降水量 500 mm 前後の地域では、☐イ小麦栽培が行われ、世界有数の穀倉地帯となっている。

☐ウ鉱産資源では、石炭や天然ガス、ウランなどのエネルギー資源、また鉄鉱石やボーキサイト、金などの鉱物資源の世界的な産出国として知られる。鉄鉱石は☐エダンピアやポートヘッドランドなどが、石炭はニューカッスルなどが積出港となっている。

オーストラリアでは、貿易や投資をさらに拡大するために、国際関係を強化する政策が進められている。例えば、1986 年には、グループを結成し、農産物の自由化を先進国に働きかけてきた。アジア・環太平洋での☐カ貿易や交流を通じた経済成長が重視されている。

ニュージーランドはポリネシア南端の島国で、弧状列島をなしている。☐キニュージーランドは農牧業国で、海外への農畜産物の輸出も盛んである。☐クオークランドなど人口が集中する大都市は、港を中心に都市が建設され、鉄道の起点となる駅が港の近くに配置されている。

問 9 空欄アに入る語句として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

- | | |
|-----------|----------------|
| ① キンバリー高原 | ② グレートアーテジアン盆地 |
| ③ ナラボー平原 | ④ ヨーク岬半島 |

問 10 下線部①に関連して、表 1 は 4 か国（アメリカ合衆国、オーストラリア、フランス、ロシア）とカナダにおける小麦の生産量と輸出量をみたものである。オーストラリアに該当するものとして最も適当なものを、次の中から選りなさい。

表 1

国名	生産量	輸出量
①	10,423	1,783
②	4,490	2,092
③	3,624	2,878
④	3,463	2,015
カナダ	3,433	1,855

統計年次は 2022 年。単位は万トン。

『データブック オブ・ザ・ワールド』により作成。

問 11 下線部㊦に関連して、鉱産資源に関する記述として適当でないものを、次の中から選りなさい。

- ① 開発は、内陸での土地開発や 19 世紀のゴールドラッシュをきっかけに始まった。
- ② 第二次世界大戦後に、欧米の外国資本が導入されて開発が本格化した。
- ③ 鉄鉱石や石炭の多くは、坑道掘り^{こうどう}で採掘され、積出港に運ばれて輸出される。
- ④ 内陸部には、カルグーリーなど鉱山集落がいくつも生まれている。

問 12 下線部⑤に関連して，ダンピアが位置する場所として最も適当なものを，図 1 中の A～D から選びなさい。

- ① A ② B ③ C ④ D



図 1

問 13 空欄⑥に入る語句として最も適当なものを，次の中から選びなさい。

- ① キャンベラ ② ケアンズ
③ シドニー ④ メルボルン

問 14 下線部㉔に関連して、表 2 は、オーストラリア、カナダ、タイ、ブラジルにおける輸出相手先別貿易額の上位 5 か国を表したものである。オーストラリアに該当するものを、次の中から選びなさい。

表 2

	①	②	③	④
1 位	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	中国	中国
2 位	中国	中国	アメリカ合衆国	日本
3 位	日本	日本	アルゼンチン	韓国
4 位	イギリス	ベトナム	オランダ	インド
5 位	メキシコ	マレーシア	メキシコ	アメリカ合衆国

統計年次は 2023 年。『データブック オブ・ザ・ワールド』により作成。

問 15 下線部㉕に関連して、ニュージーランドの農牧業に関する記述として適当でないものを、次の中から選びなさい。

- ① キウイフルーツやアボカドなど、付加価値の高い果樹作物の輸出も盛んに行われている。
- ② チーズやバターなどの乳製品や肉類、羊毛など、一次産品がおもな輸出品となっている。
- ③ 乳製品のおもな輸出先は、ヨーロッパから近年はアメリカやアジアに移っている。
- ④ 酪農は、より温暖で適度な降水量に恵まれた牧草の多い南島で盛んで、コンテナ船の登場をきっかけに発展した。

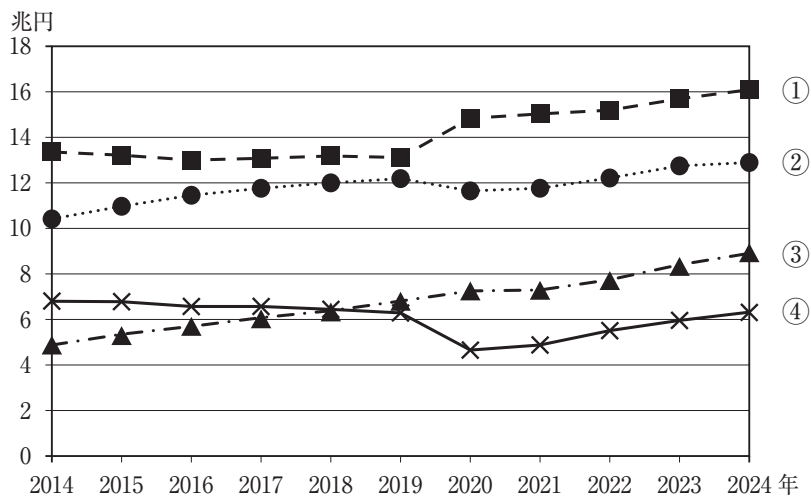
問 16 下線部㉖に関連して、オークランドが位置する場所として最も適当なものを、図 1 中の e ～ h から選びなさい。

- ① e ② f ③ g ④ h

- 3 次の文章A・Bを読み、下の各問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

A 消費者は生活のために必要なモノを購入している。消費者が生産者から直接モノを購入することはあまりない。商品を仕入れ、消費者へ販売する商業という仕組みを活用するのが一般的である。商業の経営者は⑦店舗を構えて商品を販売し、①消費者のニーズなどに合わせて店舗を立地させてきた。商業も時代とともに変化し、⑨オンラインショッピングでの商品の販売が近年増加し、その⑤支払い方法は多様になっている。

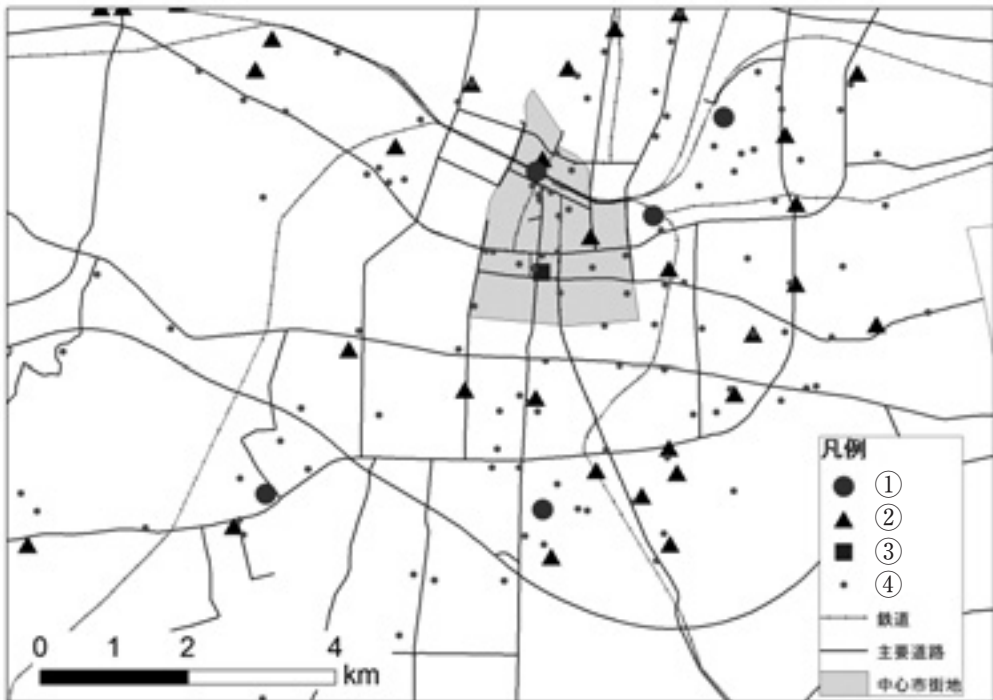
問 17 下線部⑦に関連して、図1は日本における商業の店舗の種類ごとの売り上げの推移を表したものであり、コンビニエンスストア、スーパー、ドラッグストア、百貨店のいずれかである。百貨店に該当するものとして最も適当なものを、次の中から選びなさい。



商業動態統計調査により作成。

図 1

問 18 下線部①に関連して、図 2 はある都市におけるコンビニエンスストア、ショッピングセンター（10,000㎡以上）、スーパー（ただしショッピングセンター内ものは除く）、百貨店の立地を表したものである。ショッピングセンターに該当するものとして最も適当なものを、次の中から選びなさい。



自治体の資料などより作成。

図 2

問 19 下線部⑤に関連して、オンラインショッピングの記述として適当でないものを、次の中から選びなさい。

- ① インターネットが普及したことで盛んになった。
- ② 顧客データを活用したマーケティングが行われている。
- ③ 最新の商品を大都市以外の地域でも入手できる。
- ④ 日本では消費者が海外から商品を購入することはできない。

問 20 下線部⑤に関連して、表 1 はアメリカ合衆国、中国、日本、フランスにおける 2015 年と 2022 年の支払い方法のキャッシュレス決済比率を示したものである。日本に該当するものとして最も適当なものを、次の中から選びなさい。

表 1

	2015 年	2022 年
①	63.9%	83.5%
②	45.0%	56.4%
③	39.1%	51.2%
④	18.4%	36.0%

「キャッシュレス・ロードマップ」(2024 年)より作成。

B ⑤第 3 次産業は商業や観光業、交通運輸業など多岐にわたり、第 1 次産業や第 2 次産業に分類されない産業が該当する。交通運輸業についてみると、

⑥旅客輸送と⑦貨物輸送では輸送手段は異なる。

また、近年、製造業ではグリーンエネルギーの利用促進への取り組みが進み、貨物輸送に関しても環境への影響を縮小するために⑧乗用車やトラックから鉄道や船舶へ輸送手段の変更が求められはじめた。

問 21 下線部⑨に関連して、表 2 は愛知県、青森県、沖縄県、東京都における第 1 次産業、第 2 次産業、第 3 次産業の構成割合を示したものである。沖縄県に該当するものとして最も適当なものを、次の中から選びなさい。

表 2

	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
①	0.3%	14.3%	85.5%
②	1.7%	31.2%	67.2%
③	3.4%	14.7%	81.9%
④	9.8%	20.7%	69.5%

統計年次は 2022 年。『データブック オブ・ザ・ワールド』により作成。

問 22 下線部⑤に関連して、日本の旅客輸送に関する記述として適当でないものを、次の中から選びなさい。

- ① 航空交通では、空港が各地に整備され、地方空港からハブ空港（東京、大阪、札幌千歳）へ向かう便数よりも、地方空港間を結ぶ便数の方が多い。
- ② 瀬戸内海の離島では、貨物だけでなく、住民の移動にも船舶が活用されている。
- ③ 東京 23 区では公共交通機関が発達しており、通勤や通学、買い物などでは、主に公共交通が利用される。
- ④ 農山村地域では公共交通の路線の廃止や減便が進み、公共交通だけで生活できない地域が生まれている。

問 23 下線部⑦に関連して、表 3 はアメリカ合衆国、中国、日本、ブラジルの国内航空貨物輸送と国際航空貨物輸送を示したものである。日本に該当するものとして最も適当なものを、次の中から選びなさい。

表 3

	国内航空貨物輸送	国際航空貨物輸送
①	19,066	26,939
②	6,621	14,340
③	539	10,408
④	543	751

統計年次は 2021 年。単位は百万トンキロ。

『世界国勢図会』により作成。

問 24 下線部⑧を表す語句として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

- ① ナビゲーション
- ② モータリゼーション
- ③ モーダルシフト
- ④ ライトレール

- 4 次の図1は、日本のある地域の地形図（一部改変）である。この図を見て、下の各問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。



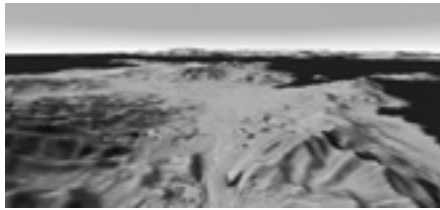
国土地理院「電子地形図 25000」により作成。

図 1

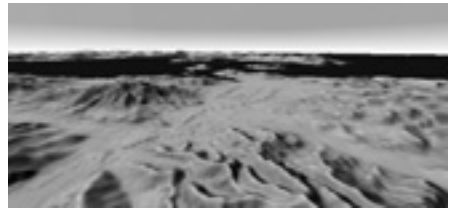
問 25 図1の範囲の所在地として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

- ① 岡山県 ② 広島県 ③ 香川県 ④ 愛媛県

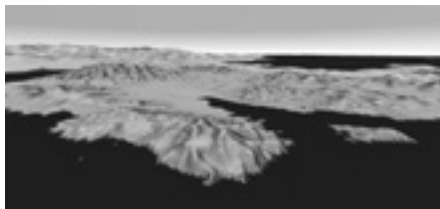
問 26 次の図 2 の①～④は、いずれも、図 1 の A 地点の方向を見た鳥瞰図^{ちょうかんず}として描いたものである。南西の上空から見た鳥瞰図として最も適当なものを、図 2 の中から選びなさい。



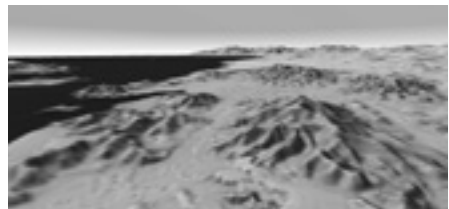
①



②



③



④

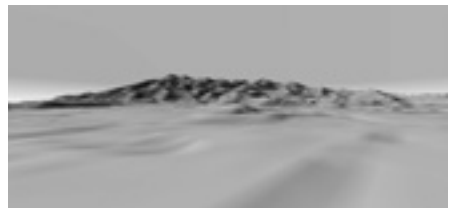
「カシミール 3D スーパー地形セット」により作成。

図 2

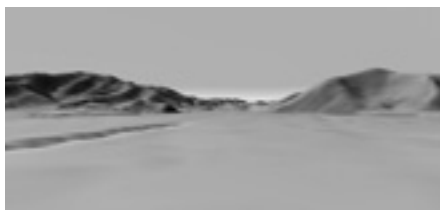
問 27 図 1 中の A 地点から D 地点の方向を見た場合の眺望として最も適当なものを、次の図 3 の中から選びなさい。



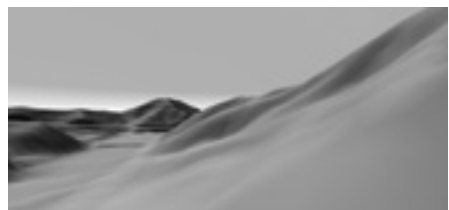
①



②



③

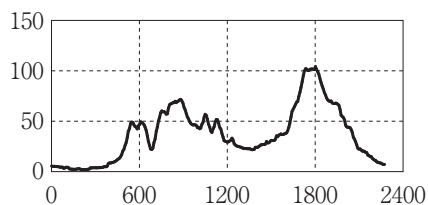


④

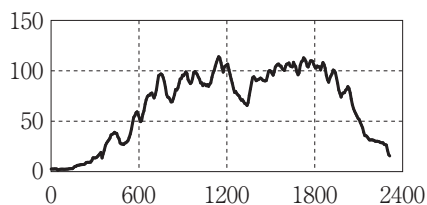
「カシミール 3D スーパー地形セット」により作成。

図 3

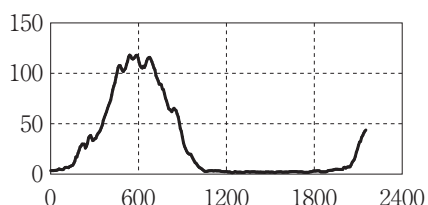
問 28 図 1 中の B 地点と C 地点とを結ぶ線分に沿って描いた地形断面図として最も適当なものを，次の図 4の中から選びなさい（折れ線の左端を B 地点，右端を C 地点とする）。



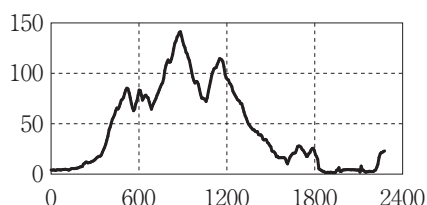
①



②



③



④

単位は m。国土地理院「地理院地図」により作成。

図 4

問 29 図 1 中の各地点についての記述として最も適当なものを，次の中から選びなさい。

- ① A，D，F 地点の標高はいずれも 10 m 以下である。
- ② E 地点の周囲では広葉樹林が卓越している。
- ③ F 地点は，扇状地の扇央付近に位置している。
- ④ G 地点からは，他のすべての地点が見える。

問 30 図 1 中の G 地点付近で撮影した景観写真として最も適当なものを、次の中から選びなさい。



①



②



③



④

問 31 図 1 中の地域とほぼ同じ経度に位置する都市として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

① ウラジオストク

② オークランド

③ ジャカルタ

④ 北京

問 32 図 1 中の地域における，持続可能な社会を構築していくための取り組みについて述べた文 X と Y の正誤の組合せとして最も適切なものを，次の中から選びなさい。

X 高速道路の利便性を活かすため，IC 周辺地域への居住地の誘導を勧め，公共交通に依存せず，自家用車利用により日常生活を維持できる環境整備を進める。

Y 台風や豪雨時に溜め池が決壊するリスクを低減させることや，溜め池への転落事故の発生を防ぐため，溜め池を埋め立てて宅地化する取り組みを進める。

① X—正 Y—正

② X—正 Y—誤

③ X—誤 Y—正

④ X—誤 Y—誤